

# 競 技 上 の 注 意

## 競技審判上の注意

### 〔全般的事項〕

1. この大会は、愛知県高等学校体育連盟が定めた大会実施要項及び公益財団法人日本バドミントン協会競技規則、大会運営規程並びに公認審判員規程により行う。
2. 審判は原則としてすべて敗者審判で行う。
3. プレーヤーは開会式・開始式に間に合うように会場に到着すること。
4. 競技の進行を円滑に進めるために、コールされたら速やかに「集合」すること。
5. マッチの進行状況に応じて、予定されたマッチの開始時刻やコートを変更することがある。放送には十分注意すること。
6. 試合を連続して行う場合のインターバルは次の通りである。
  - 〈学校対抗〉○学校対抗が連続する場合は20分とする。ただし、愛知県大会の決勝・3位決定戦は30分とする。
    - 2コート以上並行してマッチを行い、同一プレーヤーが連続してマッチをする場合は10分とする。
  - 〈個人対抗〉○準決勝からは15分、その他はすべて10分とする。
7. 各マッチのインターバルは次の通りである。
  - すべてのゲーム中に、一方のサイドのスコアが最初に11点になったとき、60秒を超えないインターバルを認める。（プレーヤーは20秒前にはコートに入ること）
  - 第1ゲームと第2ゲームの間、第2ゲームと第3ゲームの間に120秒を超えないインターバルを認める。（プレーヤーは20秒前にはコートに入ること）
8. インターバル中のアドバイスは、監督・コーチなど同時に2人までである。
  - 主審の「(コート番号) 20秒」で、コートから離れるものとする。
  - なお、コーチングシートを設ける。
9. 個人対抗単において、マッチ開始前のウォームアップ（3分間）をする相手は対戦相手とする。
10. マッチ中のプレーヤーの水分補給・汗ふきなどは必ず主審の許可を得ること。
  - なお、氷嚢の使用は、インターバル中のみとする。
  - 容器は倒れてもこぼれないフタ付ボトルを使用し、主審横のショートサービスライン付近でバッグに入れ、保管すること。
  - 氷嚢は、ベンチ、コーチングシートで保冷バッグなどに入れ、保管すること。
11. サービスの遅延行為に関しての判定は主審が行う。
12. 主審及び大会本部が必要と認めた以外のプレーの中断は、一切認められない。
13. 次のような違反行為に対しては厳正に対処する。（競技規則第16条）
  - 息切れなど体力回復等の遅延に関わる行為、または、アドバイスを受けるためにプレーを遅らせる行為。
  - 主審の許可なしにコートを離れること。
  - 故意にシャトルに手を加えたり破損したりする行為。
  - 審判員や観客に対して横柄な振舞い、相手に対して下品で無礼あるいは不適切な態度、言動。
  - 見苦しい着衣でプレーをする。
  - ラケットや身体でネットなどのコート施設を叩いたり、耳障りなかけ声や奇声を発するなどの不品行な振舞い。
14. 競技中は、必ず高等学校名の入ったシャツを着用するか、ゼッケンをつけること。
  - （背面の文字は単一色で、文字列各行の大きさは、高さ6cm～10cm、横30cm以内とし、明確に判読できるもの）
15. 競技中の怪我や病気については競技役員長が判断する。
16. 審判員の判定に対して疑問のある場合は当該プレーヤーが、学校対抗の場合は当該プレーヤーと監督に限り質問することが認められる。ただし、抗議あるいは異議であってはならない。
17. 競技場内では、携帯電話の電源を切るか、もしくはマナーモードにすること。
  - また、競技フロア内での携帯電話の使用は一切認めない。
18. コートサイドで、コーチはマッチ中いかなる目的でも携帯電話、パソコンなどの電子機器を使用してはならない。

### [学校対抗に関する事項]

1. 学校対抗（団体戦）はダブルス2組・シングルス3名で行い、マッチ順序はダブルス1・ダブルス2・シングルス1・シングルス2・シングルス3で実施する。なお、シングルス1出場者以外は、ダブルスとシングルスを兼ねて出場することができる。
2. 監督、コーチ、マネージャー、プレーヤーの変更は開会式前をもって最終のものとし、以後の変更は一切認めない。なお、その際の変更は、公益財団法人日本バドミントン協会の会員登録を終えている者とする。
3. 初回戦のオーダー用紙は、開会式前に大会本部へ提出すること。次回戦以降は大会本部で手渡すものとする。対戦相手がわかり次第、速やかに提出すること。
4. オーダー用紙は、3枚複写で記入し、（A）（B）を提出し、（C）を自校で保存すること。
5. 指示のあった時刻までにオーダー用紙の提出がない時には「棄権」とする。
6. プレーヤー集合所は設けない。エントリーをしている者（監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、プレーヤー5～7名）は、プレーヤー集合の放送の指示によりコートに集合すること。
7. ベンチに入ることができるのは、当該試合マッチにエントリーされた者のみとする。
8. マッチ開始前のウォームアップは、初回戦に限り、対戦チームと挨拶の後、主審の指示で各校5分間行うものとする。順番は組合せ番号の先番チームからとする。なお、当初から2コート以上を用いてマッチをする場合は、両チーム同時に5分間とする。ただし、決勝・3位決定戦については各マッチ前に3分ずつウォームアップ時間を与える。（\* 開会式前のウォームアップはない。）
9. 団体戦開始時（挨拶時）には必ず監督も整列をすること。監督不在の場合、原則としてそのマッチはすべて没収となり、オープン形式での参加となる。
10. マッチは、1回戦より2～3コート並行して行うことがある。その際、同一プレーヤーが連続してマッチをする場合のインターバルは10分とする。
11. マッチは、勝敗決定（3マッチ先取）後、打ち切りとする。
12. 勝敗が決定したら対戦チームとあいさつをし、勝利チームは退場し、敗者チームは審判用紙を本部席へ持っていくこと。

### [個人対抗に関する事項]

1. プレーヤーの変更は、いかなる場合でも認められない。
2. プレーヤーはマッチが近づいたら、開会式・開始式で指示があった場所に待機すること。
3. マッチのコールがされたら、速やかにコートに集合すること。
4. マッチ前のウォームアップは認めない。ただし、決勝・3位決定戦・2位決定戦については主審の指示に従い、同時に3分間とする。（単の場合、対戦者同士で行うこと）（\*開会式・開始式前のウォームアップを設ける。）
5. 勝敗決定後は、対戦相手とあいさつをし、勝者は退場し、敗者は審判用紙を本部席へ持っていくこと。

### [一般上の注意]

1. 各競技会場の開場時間を確認して、あまり早い時間に行かないこと。
2. 愛知県大会においては、監督・コーチ・マネージャーは会場到着後、大会本部で受付を済ませ、IDカードを着用すること。
3. 競技者は会場に到着したら、学校対抗に出場するチームの代表者はオーダー用紙を本部席に取りに行くこと。また、個人戦で「棄権」がわかっているところは本部に報告すること。
4. 各競技場では、係員の指示や会場の表示に従って、下履きと上履きの区別をつけること。
5. 競技フロア内での飲食やクーラーボックスの持ち込みを禁止する。ただし、学校対抗の際、ベンチでの水分補給を認める。濡れた場合は、各校の責任できれいにすること。
6. 部旗・応援旗を使用する際には、競技に支障がないような配慮をすること。なお、競技や大会の運営に支障が生じると大会本部が判断したときには、取り外すこと。
7. 応援の際、競技に支障がないように配慮をすること。太鼓やラッパなどの鳴り物、うちわメガホンなどを使用した応援は禁止する。競技に支障があると競技役員長が判断した場合は、競技規則に基づき厳正に対処する。
8. フラッシュを用いての写真撮影は禁止する。また、会場施設内の電源（コンセント）の使用は禁止とする。
9. ゴミは各自で責任を持って持ち帰ること。「来たときよりも美しく」の気持ちを心掛けること。
10. 競技中の疾病、傷害については応急処置のみ主催者で行うが、その後は各自で処置をすること。
11. 防犯上、貴重品はじめ私物の管理は、各自（各チーム）で責任を持って行うこと。
12. 各会場との最前列は、一般および対戦校用応援席とするので、荷物等は置かないこと。なお、観覧席では立っての応援は禁止する。また、事故防止のため最前列の手すりにはもたれないようにすること。